

6-2 かけがえのない自然との共生

【取組内容と成果・成果を得られた要因】

○自然資源の活用

・環境保護地区、保護庭園の適正維持、近郊自然歩道の安全確保のため巡視を行ったほか、標識の修繕を行った。
 ・継続的な活用の取組と市民への周知により、「自然が守られている」と感じる市民の比率が着実に向上している。

○自然の保護

・盛岡市自然環境等保全計画の変更に向け、平成18年度から平成23年度まで玉山区の自然環境調査を実施した。
 ・カラスやカルガモ等の有害鳥獣の捕獲許可、市街地に侵入してきたクマ、ニホンジカ等の野生動物の捕獲に関する対応を行った。

